



子どもの貧困対策 全国キャラバンin島根



2022年7月4日(月)13時30分～ 島根県民会館

多くの方々が子どもの貧困対策への理解を深め、より充実した民間や自治体の支援体制を構築するきっかけと場づくり、官民双方のつながりづくりを目的とするプロジェクトです。

すでに43都道府県で開催しました。今回、島根県での開催を通して、官民ともに対策をさらに前へ進める後押し場の場となるよう企画しました。

■日時 2022年7月4日(月)13時30分～16時30分

■会場 島根県民会館大会議室(松江市殿町158)

オンライン(Zoom)での参加も受け付けます

■参加費 無料

■参加方法

・会場参加(定員90人)

・Zoomによるオンライン参加(定員100人)



■主催 公益財団法人 あすのば

■共催 島根県

■後援 内閣府、島根県教育委員会・社会福祉法人 島根県社会福祉協議会・松江市・松江市教育委員会・社会福祉法人 松江市社会福祉協議会・浜田市・出雲市・益田市・大田市・安来市・江津市・雲南市・奥出雲町・飯南町・川本町・美郷町・邑南町・津和野町・吉賀町・海士町・西ノ島町・知夫村・隠岐の島町・島根県地域若者サポートステーション(以上申請中)

■助成 公益財団法人 キリン福祉財団

■主なプログラム

・講演「市町村における子どもの貧困対策推進のために」

小河 光治(あすのば代表理事)

・パネルディスカッション「それぞれの立場から見た子どもの現状

～気づき、支え、未来へつなぐ～

コーディネーター：高橋 憲二さん(青少年育成島根県民会議会長)

パネリスト：野津 久美子さん(地域つながりセンター事務局長)

細川 豪さん(はまだこども食堂実行委員会代表)

比良 静代さん

(しんぐるまざあず・ふおーらむ出雲(島根)代表)

松嶋 由香里さん(美郷町健康福祉課課長)

参加お申込 あすのばウェブサイトまたはFAXで(詳しくは裏面)



FAX 03-6277-8519

FAX・ウェブサイト・メールなどでお申し込みください。

E-mail info@usnova.org

WEB www.usnova.org



「子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 島根」参加申込書

日時：2022年7月4日(月) 13時30分～16時30分(13時から受付開始)

会場：島根県民会館大会議室(住所：松江市殿町158)

参加方法：会場に参加 or オンラインで参加(どちらか○印を)

※オンライン参加は、前日までにzoomのIDとパスコードをメール致します

お名前

お住いの市町村

電話番号

FAX(あれば)

E-mail(※オンライン参加は必須)

公益財団法人あすのぼ

子どもの貧困対策法成立から満2年を迎えた2015年6月19日に、子どもの貧困対策センター「あすのぼ」は設立・誕生しました。2016年4月1日、内閣府より公益認定を受けて「公益財団法人あすのぼ」として、子どもの貧困対策推進に向けてさらなる歩みを進めています。

あすのぼは、「明日の場」であり、「US(私たち)」と「NOVA(新しい・新星)」という意味もあります。子どもたちが「ひとりぼっちじゃない」と感じてほしいという「私たち」と一緒だよという願い。そして、多くの人に子どもの貧困問題が他人事ではなく自分事を感じてほしいという「私たち」でもあります。みんながつどう「場」であってほしいですし、すべての子どもたちが明日に希望を持って、輝く新星のような人生を送って欲しいという願いも込めています。

大きな特徴は、子どもがど真ん中・「センター」のポジションとして、孤立し声を出せない子どもの声を大切に作る運営に努めています。

事業は、①調査・研究とそのデータなどに基づいた政策提言、②全国の支援団体の活動が持続し発展できるような支援団体への中間支援、③子どもたちの自立のために物心両面での子どもたちへの直接支援、の3本柱を担っています。

全国キャラバンは、2016年度沖縄県を皮切りに、兵庫県・高知県・長野県・栃木県・山形県で開催し、650人が参加。2017年度は、千葉県・富山県・熊本県・京都府・山口県・香川県・岐阜県・長崎県・福島県で開催し、879人が参加。2018年度は、岩手県・神奈川県・石川県・奈良県・三重県・静岡県・山梨県・広島県・東京都・佐賀県で開催し、932人が参加。2019年度は、新潟県・福井県・青森県・宮崎県・和歌山県・大分県・愛媛県で開催し、738人が参加。新型コロナの影響で、2020年度は茨城県・滋賀県で225人が参加、2021年度は群馬県・鹿児島県・鳥取県で187人が参加。2015年度に開催した交流会を含め、これまでに43都道府県で、合計3,961人が参加くださいました。